

令和4年度 林業普及週間現地情報(9/4～9/10)

森林管理課

イジュの苗木生産に係る指導

9月9日(金)

令和4年9月9日、本センターと森林資源研究センターと合同で、名護市の苗畑において、名護市農林水産課へイジュの苗木生産指導を行った。

イジュは、通直性のある広葉樹で、本県では一級材とされているが、育苗技術が確立されておらず、しいな(不稔種子)という発芽能力のない種子も多く、発芽率が20%と低い状況にあり、特に、昨年は採種した種子はさらに発芽率が低く2%程度であったことから市から相談があり、今回、育苗の生産指導を行った。

研究センターから、蒴果(さくか)が割れる前の9月末頃に集め、専用のオープンで蒴果を割り人為的に種子を採取し、その種子を用いて発芽率の試験を行い、その結果を名護市へ連絡することが伝えられた。

また徒長苗については、剪定することにより、より良質な苗として活用できることを指導した。

今後も研究センターと連携し、市も含めイジュ苗木の生産指導を行っていきたい。



苗木生産の指導状況

(報告者：北部農林水産振興センター 仲里、森田、仲宗根)